

【報告】

第20回 日本禁煙科学会 学術総会 in 京都

【開催概要】

◆テーマ

禁煙科学の20年～さらに高く、さらに広く

◆開催日

開催日：2025年10月25日（土）～ 10月26日（日）

◆会場

京都大学医学部G棟  
京都市左京区吉田近衛町

◆会長

高橋 裕子  
京都大学大学院医学研究科  
健康情報学特任教授

◆運営委員長

中山 健夫  
京都大学大学院医学研究科  
社会健康医学系専攻  
健康情報学分野教授

◆主催・共催

日本禁煙科学会、京都大学健康情報学

◆事務局

第20回日本禁煙科学会学術総会 in 京都 事務局  
大阪商業大学 東山明子研究室  
〒577-8505 東大阪市御厨栄町3-1-35  
大阪商業大学 学術センター U-Box 2F  
問い合わせ：<https://form.os7.biz/f/d3a0f192/>

【URL】

◆第20回 日本禁煙科学会 学術総会のページ

[https://www.jascs.jp/scientific\\_conference/conf\\_index.php#area\\_20](https://www.jascs.jp/scientific_conference/conf_index.php#area_20)

◆第20回 日本禁煙科学会 学術総会 プログラム・抄録集

「禁煙科学」Vol. 19(13), 2025. 10

※「禁煙科学2025」のページからダウンロードできます。

[https://www.jascs.jp/kinen\\_kagaku/kinen\\_kagaku\\_2025.html](https://www.jascs.jp/kinen_kagaku/kinen_kagaku_2025.html)

第20回 The Japanese Association of Smoking Control Science

日本禁煙科学会学術総会  
in京都

「禁煙科学の20年～さらに高く、さらに広く」



会期 2025年10月25日(土)～10月26日(日)

会場 京都大学医学部G棟  
京都市左京区吉田近衛町

会長 高橋 裕子  
京都大学大学院医学研究科健康情報学特任教授

運営委員長 中山 健夫  
京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻  
健康情報学分野 教授

主催・共催：日本禁煙科学会・京都大学健康情報学

**【学術総会会長挨拶】**

第 20 回 日本禁煙科学会学術総会 in 京都

会長 高橋 裕子

(京都大学大学院医学研究科健康情報学特任教授)

この度、第 20 回日本禁煙科学会学術総会を2025 年10月25日（土）～26 日（日）の2日間、京都大学医学部G 棟を会場として開催させていただきます。

日本禁煙科学会は2005年に、故日野原重明先生（聖路加国際病院理事長）および日野原重明先生の愛弟子の吉田修先生（京都大学名誉教授・奈良県立医科大学学長）の発案により創立されました。以後、多くの皆様方のご支援をいただき、日本における禁煙の推進と禁煙支援の普及に貢献してきたことを感謝とともに報告申し上げます。

日本禁煙科学会では、2006年に第一回学術総会を京都大学にて、そして2016年には第11回学術総会を京都大学にて開催していただいて参りました。このたび、節目となります第20回の学術総会を学会発祥の地である京都大学にて開催します。本学会のテーマを「禁煙科学の20年～さらに高く、さらに広く」とさせていただきます。「禁煙をサイエンス（科学）として推進普及する」との日野原重明先生の理念に今一度立ち返り、この20年の禁煙科学の発展を振り返るとともに、今後につなぐ時間をさせていただきます、どうぞみなさまのご支援をお願い申し上げます。

日本禁煙科学会は、禁煙を科学する一環として、禁煙支援の発展と普及に力をいれてきました。認知行動療法、ピアサポート、IT 支援、禁煙薬物療法など、多くの発展がありましたが、なお残る課題として、加熱式タバコや電子タバコなどの新たなタバコ製品の普及や妊婦や子どもたちへの禁煙支援など通常の禁煙支援には禁煙が困難な人々への支援などがあげられます。日本禁煙科学会においては「禁煙治療研究会」をはじめ、数々の分科会を設けて探求を続けてきました。

また日本禁煙科学会は子どもたちを大切にするとの日野原重明先生の理念を受け継ぎ、発足当初から子どもたちをタバコから守るための活動に注力してきました。2009年に沖縄で開催された第4回学術総会を機に「子どもの禁煙研究会」が設立され、「教育小児分科会」とあいまって喫煙防止と子どもたちへの禁煙支援方法の探求を積み上げてきました。

子どもたちをタバコから守るうえでも欠かせないのが家庭での禁煙です。とくにワーキングエイジへの禁煙の普及は重要であり、日本禁煙科学会では「職域分科会」をもうけ、保険者機能を推進する会たばこ対策研究会と連携して職域での禁煙推進にも注力してまいりました。

今後の日本の健康を考える上に、これらのテーマは欠かすことのできない重要な事項であり、基礎から臨床

に至るまで、統合的なアプローチが重要です。今回の学術総会では、改めてこの20年の禁煙科学の発展を振り返るとともに、今後に向けての企画として、3つのシンポジウム、2つの教育講演をはじめとする数々の企画を計画しています。「実装」など新たな観点からの禁煙科学の創出にも触れ、今後の禁煙科学の発展の基となることを期待しています。

インバウンドの影響もあり、京都はたいへんな賑わいです。日本禁煙科学会の大きな特徴のひとつが多領域、多職種の密接な連携にあります。京都にて、さらなる連携の輪の広がっていただければ幸いです。

なお京都では公式の懇親会は開催しません。学術総会の2週間前に開催されます金沢での講習会（禁煙アドバイザー育成講習会）をプレ学術総会と位置づけ、懇親の場も設けますので、ぜひそちらにもご参加ください。

京都・金沢と、日本のよき伝統ある町で禁煙科学の20年を振り返り、よき発展につなげる、すばらしい時間となりますように祈念し、みなさまのご参加をお待ちしております。

最後になりますが、学術総会の企画・プログラム作成にあたり、多大なるご支援をいただきましたみなさまに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、運営委員長として中山健夫教授（京都大学）に大きな助力を賜りますことも、深く感謝しております。

## 【学 会 賞】

◇ 2025年度（第20回日本禁煙科学会学術総会 in 京都） 学会賞受賞



東山 明子

（大阪商業大学 公共学部 客員教授）

### 受賞理由：

心理学の分野での禁煙支援に関する業績および三次喫煙に関する研究

### 略 歴：

所属：大阪商業大学公共学部客員教授

（滋賀県立短期大学、滋賀県立大学、関西福祉大学、畿央大学、大阪商業大学を経て現職）

専門分野：スポーツ心理学、健康心理学

学歴：奈良女子大学文学部教育学科卒業、同大学院修士課程文学研究科修了、

同大学院博士後期課程人間文化研究科修了

学位：博士：医学（滋賀医科大学）

博士：学術（奈良女子大学）

## 【日本禁煙科学会 禁煙教育推進賞（畑中孝之賞）】

◇ 2025年度（第20回日本禁煙科学会学術総会 in 京都） 禁煙教育推進賞受賞

奈良県・奈良県教育委員会

受賞理由：

奈良県における就学前後の児童生徒への喫煙防止教育の推進と副読本による成人への禁煙教育および、奈良県事業としての未成年者禁煙支援相談事業における保健所・学校・保護者・医療者の連携による未成年喫煙者への社会的禁煙支援システムの構築

日本禁煙科学会 禁煙教育推進賞について：

日本禁煙科学会は、2006年の発足当初から子どもたちをタバコの害から守るための教育の普及につとめてきましたが、2021年より日本の禁煙の一層の推進と今後の活動における協働に資することを目的として、禁煙教育の禁煙教育の領域において多大な功績をあげた個人または団体を顕彰ことと致しました。なお、本賞は副称を「畑中孝之賞」とします。

日本禁煙科学会HP「畑中孝之氏について」 ---下記URLよりご覧下さい。

[https://www.jascsc.jp/topix/topix\\_202109/mr\\_hatanaka.html](https://www.jascsc.jp/topix/topix_202109/mr_hatanaka.html)